

「塩の道祭り」 白馬を歩く

山菜、豚汁、漬物、きな粉餅などのおもてなし

第40回を数えた「塩の道祭り」、5月4日の白馬コースに参加しました。

出発の白馬クロスカントリ―競技場では、鏡割りによるお酒の振る舞いがあり「塩の道太鼓」に送られて出発。この日は2千100人が参加しました。

50分ほど歩き、二僧塚というところで最初のおもてなしは、つきたてのきな粉餅と麦茶、漬物が待っていました。

さらに50分ほど進み、樹齢300年の満開のしだれ桜が有名な貞麟寺では、三味線・笛の演奏、甘茶と漬物が待っていました。

そして飯田神明社では豚汁が用意されて、太鼓と歌声のおもてなし。出発から3



時間30分で飯森神社に着き、麦茶、山菜、漬物は10種類が大盛りで用意されていました。

ゴールの白馬グリーンスポーツの森では、地酒のふるまい、ビール（これは有料）で満足。

「憲法審査会」ってなに？ 国民は改憲を望んでいない



完歩賞は日本てぬぐいと当日のみ有効の温泉割引券があり、帰りに八方温泉に入りました。

「塩の道祭り」の参加費は無く、事前の予約も必要ありません。

本年に楽しいですよ、皆さん来年は一緒に歩きましょう。

（塩の道祭り参加者）

安倍首相は憲法記念日に、

9条に自衛隊を書き込むことや「緊急事態条項」を創設するなどの項目を示し、20年を「新しい憲法が施行される年にしたい」と明文改憲に踏み切る意向を示しました。

しかし朝日新聞による世論調査では「憲法を変える機運が高まっている」が72%、9条を「変えない方がよい」が64%と、国民が改憲を望んでいないことを明らかにしています。

安倍首相は、国会の憲法審査会（憲法の改正原案の審査権限を持つ機関、過半数の賛成で可決でき本会議に提出される）で、まず憲法改正の是非を問う国民投票法改正法案を審議し、強行突破しようとしています。

自民党は改憲の国民投票時のCMは無規制・無制限にすることを主張しています。資金力のある改憲派が有利となり、公平ではありません。

世論調査で示されたよう

連載 日米地位協定を考える⑦

74年つづく不平等な協定 改める姿勢ない日本政府

前号で在日米軍人・軍属による日本人の殺人などの被害をみてきました。

深刻な事態なのに安倍政権は、日米地位協定の抜本的改善を求めようとしていません。

昨年亡くなった翁長沖縄前知事は「沖縄では憲法の上に日米地位協定がある」と言っていました。

日米地位協定の重大な問題点のいくつかを並べてみましょう。

I、合衆国は日本国内のどこにでも基地を求める権利。
II、合衆国の基地内は日本の

国内法を適用しない治外法権化。

Ⅲ、合衆国の船舶、航空機、車両並びに軍隊の構成員・軍属・家族は基地の出入りや、基地間の移動、港や飛行場との間を自由に移動でき、道路使用料その他の課徴金を課されない。

Ⅳ、軍人・軍属・家族はNHK受信料を含むすべての税金等が免除。

そのほか公務中は米軍が裁判権を持ち、公務外は日本が持つものの、米軍のさじ加減で公務中にしてしまう。日本の裁判権放棄は数知れず、航空法や環境法など日本の法律不適用など、いまだに戦勝国と敗戦国との関係が74年も続く異常さを、政府は改めようとしません。

Ⅱ 以下次号Ⅱ

池田九条の会 米沢敏夫



読者のひろば 聞いて！聞いて！

「ツレウツ 時々仲良し」

そ

一大事だ。ツレのヘルパー猫が失踪してしまった。ツレに影響は、と云うと、ある

猫がいなくなった翌日、ツレはいつも猫がでかけるところを淡々とくまなく捜し回った。

いなかった、と言う言葉に落胆の色はなかったが気になってまた、捜しに行く。

3日目の夕方にツレが言った。猫の消息が分かった、と。近所で猫の溜まり場になっているお宅でいつものように遊びに来たといわれたそうだ。「いつのことか聞いたの？」と言ったら、「聞いてない、知りたきゃ聞いてくれば？」という。そこでそのお宅に尋ねに行った。日中は遊んでいて夜帰った

に、国民が改憲を望んでいないのですから、「憲法審査会」を開く必要はないという

ことです。

中島

牛越邦夫

特養あずみの里裁判 不当判決

3月25日に特養あずみの里裁判の判決が出されました。女性入所者（当時85歳）がドーナツを食べその後に死亡した事件で、食事の介助をしていた山口准看護師に、求刑通り罰金20万円の有罪判決でした。

介護施設で食事中的利用者の異変について、職員個人が罪に問われるという前代未聞の起訴から4年、23回におよぶ公判で、弁護団は事実を一つひとつ積み重ねてきました。

「亡くなったAさんに嚙下障害はなく、おやつ形態が変更されたからといって過失はないこと」「窒息時に一般的



無罪を求める署名も全国各地から44万5500筆も集まり裁判所に提出されたのに敗訴という結果で、弁護団は即時抗告しました。

判決後「おやつを出すことは中止した」「服薬も家族にやってもらいたい」「何かあれば次は自分が訴えられる」など、全国の介護現場に大きな影響が出ています。

今度は東京高等裁判所での公判になります。私も今までのように現地までは出かけられませんが、新たな署名をたくさん集め支援をお願いしていきます。と思っています。

健康友の会副会長 山本久子

のは失踪の日だった。ツレに伝えたが猫が帰ってこなくても平気と言いつつ、ツレも猫を探しに2時間近く出かけてしまう。

確かに食欲は変わらない。しかし、例えば私がちよつと出かけてくると云うと、ツレも猫を探しに2時間近く出かけてしまう。

私がヘルパー猫をまたもらおうかという、興奮してそもそも猫を飼うのは反対だった、飼うならおかあさんが世話をしろという。お父さんが自分のことは自分でしてくれなきゃできないよといえば、おれは病氣だ。ほったらかされたら死んじゃうという。もとより1人になどできないが、今はただ猫に帰ってきてほしい。気分良くも悪くするのも猫、か。

安曇部真羊子（匿名）



簡単な中華風
お惣菜です

春雨サラダ

材料（2人分）

緑豆春雨 60g

きゅうり 1本

ロースハム（薄切り）80g

A（酢 大さじ1.5、しょうゆ大さじ1）

白ごま 小さじ2

作り方

1. 春雨は沸騰した湯で約2分間ゆでる。ざるに上げて冷水で洗い、水けをきったら、紙タオルで拭き取る。

2. きゅうりは縦に等分し、スプーンなどで種を除き、斜め薄切りにする。塩少々をふってもみ、しばらくおい

て水分をギュッと絞る。ハムは細切りにする。Aは合わせ